

出産直後の母子触れ合い 産後1年の情緒的絆に

富大・エコチル調査

富大学術研究部医学系母性看護学講座の齊藤佳余子助教らの研究チームは、出産直後に母子が触れ合う「カンガルーケア」が、産後1年の母子の情緒的絆（ボンディング）に良い影響を与えると発表した。

チームは、子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）に参加した母子8万1634組を対象に、カンガルーケアの実施状況や母親の子どもに対する感情を質問票で調査した。結果、産後1年におけるボンディング形成不全の

発生頻度は、ケアをしていないグループが12・8%であったのに対し、肌と肌が触れるケアをしたグループは10・9%、衣服を着た状態でケアしたグループは11・6%といずれも低かった。